

※ 今週のアウトルック (4/6~4/10)

先週は週末に米国雇用統計発表があり、週中までは様子見的な動きとなりました。発表後は非農業部門雇用者数、失業率ともに大幅の悪化となりましたが、危惧されていたほどの急落とはならず、結果的にはそれ程大きな動きはなくNY市場を終了しました。

今週は、再び下落トレンドに戻ろうとしているNYダウなどの動きに、各通貨はどのように反応するのか、気が抜けない週となりそうです。

先週のドル円は、米国雇用統計の大幅な悪化を受けてもそれほど下落せず、NY市場を終了しました。このあたりの動向をどうとらえるのか、見方が分かれるところだと思います。

今週は、換金のためのドルと消去法的に安全通貨サイドにある円がどう評価されるのか。場合によっては小動きな展開となってしまう可能性もありそうです。

ドル円の予想レンジは107円から112円です。

先週ユーロ円は、ユーロドルとともに売りが優勢となり、サポートライン付近まで下落してそのまま週末を迎えています。

今週はEUの社会不安が増大し、116円付近のサポートラインを割ってしまった場合には急落となる展開も予想されますが、その可能性は4割程度と考えています。

ユーロ円の予想レンジは115円から120円です。

ポンド円は小康状態を保っている状況です。コロナ関連の大きな出来事がなければ、このまま小動きな展開が続く可能性がやや高そうです。

ポンド円の予想レンジは130円から135円です。

NYダウは再び油断できない状況に入ろうとしている気配があります。今はポジションを傾けないことが一番の得策のように思います。

\* 免責事項 \*

当レポートを参考にトレードを行い、損失が生じた場合でも、責任は負いかねますのでご了承ください。